

2020・7・18～19調査報告

～道東のブルー達～



カラフトルリシジミ

道東のブルー達に会いに行く

6時30分旭川からA車到着、寄り道せずに厚岸到着10時30分。高速が阿寒まで伸びて、釧路外環道も別保まで出来ていた。予想より早い到着。腹が減ったので、そばかラーメンでもと店を探すが、開店準備中ばかり。出来るよと声をかけたきたラーメン屋入店。しかしなかなか出てこない、お湯を沸かしているようだ。早くいきたいのにね～。

まず、厚岸からそれほど遠くないアサマシジミを観に行く。アサマシジミは国内希少野生動植物種に指定された絶滅危惧種。観察地は地元の協力を得て食草であるナンテンハギと共に保全活動が進められているところ。今回はその状況を確認するための調査でもある。



気温18度くらいの曇り空でも一定数の成虫が活動していた。一安心。

淡いブルーがなんとも美しい♂



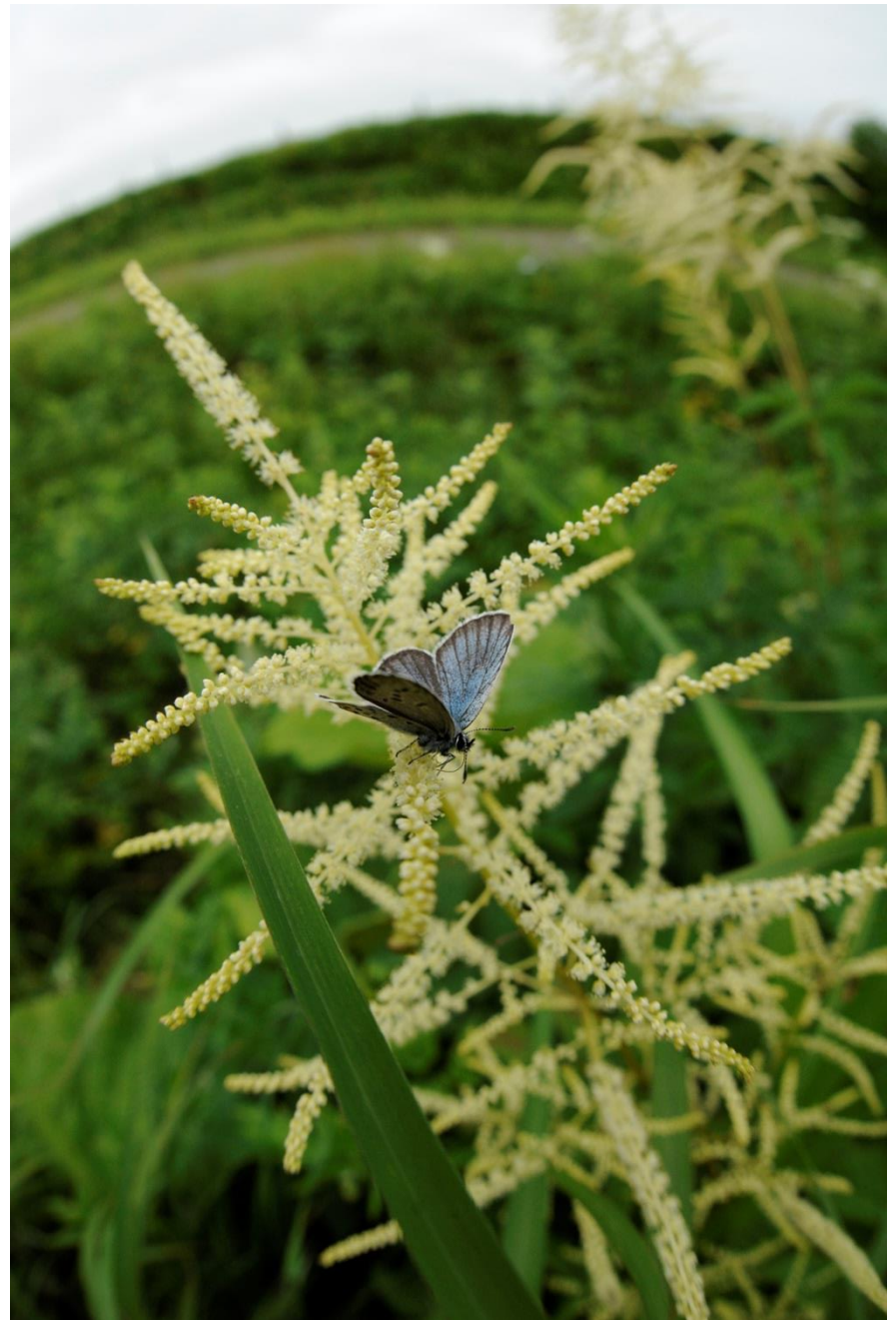
♀の翅表は黒褐色。このメスは生れたての様。



何やら蝶が集まっている。近寄ると交尾
個体にみが見えていた。
活動がにぶいのでゆっくり撮影。
予想以上に発生が早いようで、今が最
盛期のようだ。



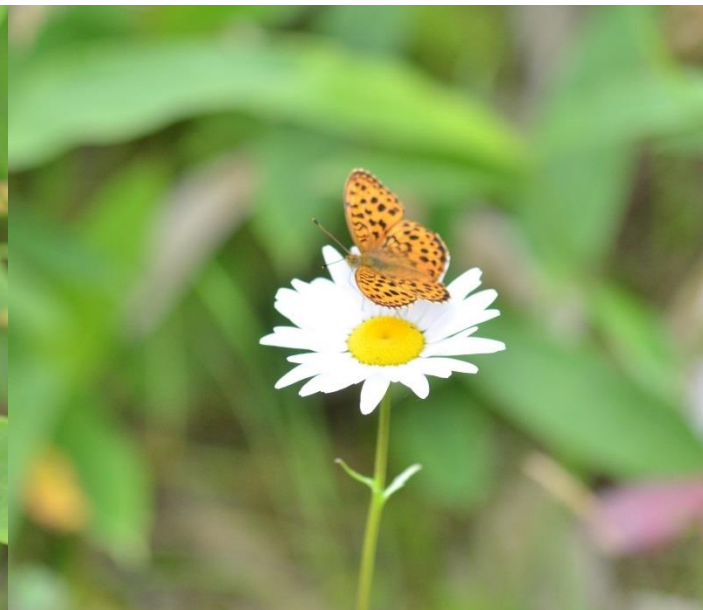
♂、♀ともにもっぱら吸蜜。食草のナンテンハギの他
クローバー類、ヤマブキショウマ、セイヨウノコギリソウなど。



薄日がさしはじめると日光浴。
14時過ぎまで観察し、根室方面のカラフトルリシジミ生息地の下見へ。



薄日がさしはじめると日光浴。他のブルー系はゴマシジミ、ヒメシジミ。
あとはナミヒョウモンが訪花に来る。14時過ぎまで観察し、根室方面の
カラフルリシジミ生息地の下見へ。



道東の広大な原野を車を飛ばし、根室半島の付け根までやってきた。
この辺の海岸近くのアカエゾマツ林の間の低湿地に高層湿原がひろがり、大
雪や十勝では高山蝶の雰囲気を出しているカラフトルリシジミが生息してい
る。2か所の産地を探索するが発見できない。ちらちら飛んでいるブルーは
白っぽいゴマシジミ。また明日出直すことにし、宿泊地の厚岸までもどる。ホ
テルの近くの和食の店で、とりあえずビール、牡蠣などを食す。



19日、天気予報は曇り。6時半過ぎに出発。まずは昨日のアサマ生息地へ。8時前に到着。下草が霧で塗れている。長靴に履き替える。それほど寒さを感じない。すぐにアサマがお出迎え。薄日が差してくるとどんどん湧いてくる。♂は吸蜜もそこそこに探雌飛翔。♀は吸蜜と日光浴。少し飛翔写真を撮ってみる。





道東のアサマシジミは他のブルー系と同じように白っぽいものが多いが、左のものは写真に撮ってから気がついたのだがずいぶん黒っぽい個体。

さて、今日のねらいはカラフトリシジミ、通称カラルリ。根室本面に移動。最初の地点で飛んでいたのはゴマが消えるほど白っぽいブルーが広がるゴマシジミ。



この白っぽいゴマシジミも道東らしくてなかなかいいのです。本州のヒメシジミくらいの小さな個体も多い。ここをあきらめて、完本でSさんが撮影した地点に移動。



湿原のワタスゲに、吸蜜のようにとまっていた。

霧雨模様。大丈夫かなあ、と長靴で湿原に踏み入る。ちらちら黒っぽいシジミが飛んでエゾイソツツジにとまった。近づいてみるとカラルリの♀でした。翅表に薄いブルーがのっている。きれいきれい。



スゲ類が広がる草原とアカエゾマツ林の間に、谷内坊主のように盛り上がった植生部分があり、そこにエゾイソツツジやガンコウラン、コケモモなどが盆栽のように植わっている。この周辺が生息地の様。薄日が射して来てきてめが飛び出し、時々絡み合う。ゴマシジミを追い回す元気なめもいる。湿原の奥の方にも足を延ばしてみるがさっぱり出てこない。いるのは最初に見たエリアだけ。



♂は探雌飛翔が主体で、灌木の先によく止まり、そのときは見張り行動もとっているようだ。





吸蜜は湿地を這うツルコケモモが好き
なようだ。これは♀ですね。
右のみはランの仲間(種名はわか
らない)で吸蜜している。





右のカラルリ君はやや濃いめのブルー、
渋い味を出しています。

♀も出ていたので、何を産卵植物に選ぶ
のか見たかったが、♀はその後姿を見せ
ず。とりあえず満足して踵を返すことに。



さてもういちどアサマのブルーの見納めで最初の地点に戻る。天気はどんどん良くなる。さてブルーの色ですが、よく見ると個体変異が見られました。この3個体はずいぶん違います。下の個体には中室端に白斑が見える。ひとつ勉強になりました。



もうひとつアサマの産卵行動も自分は見えていないので、♀をじーっと見つめること1時間。吸蜜したあとしばらく静止、また吸蜜。なかなか産んでくれない。なんとか2回だけ産卵してくれた。葉の先に止まり、触角で葉や茎を触りながら、どんどん株の下の方へ移動。今回は花托と茎の間に腹を曲げて差し込み1卵産卵した。



A先生は動画はスマホがいいのでは、というのでチャレンジしてみたところいい感じで撮れたよう。

産卵されていた卵も見つけました。



以上、道東のブルーを堪能した2日間でした。



T, Nagamori